

①環境保全に関する基本方針（環境方針）

- 1 当社の事業活動において、環境汚染の予防に努めると共に環境マネジメントシステムを運用し、継続的な改善をはかります。
- 2 環境側面に関連する法規制および、当社が受け入れを決めた要求事項を順守します。
- 3 次に挙げるテーマについて、重点的に取り組んでいきます。
 - ①省エネルギー、省資源を推進します。
 - ②リデュース（削減）・リユース（再利用）・リサイクル（再生利用）を推進し、廃棄物の削減と適正処理を行います。
 - ③環境に配慮した活動および商品の提供に努めます。
- 4 この方針を広く公開し、多くの方々とパートナーシップを築き、取組の輪を広げていきます。

②環境保全に関する組織の現況

当社における環境管理体制は図1の通り、また事業所の環境管理体制は図2の通りである。

図1 株式会社ダイエー 環境管理体制

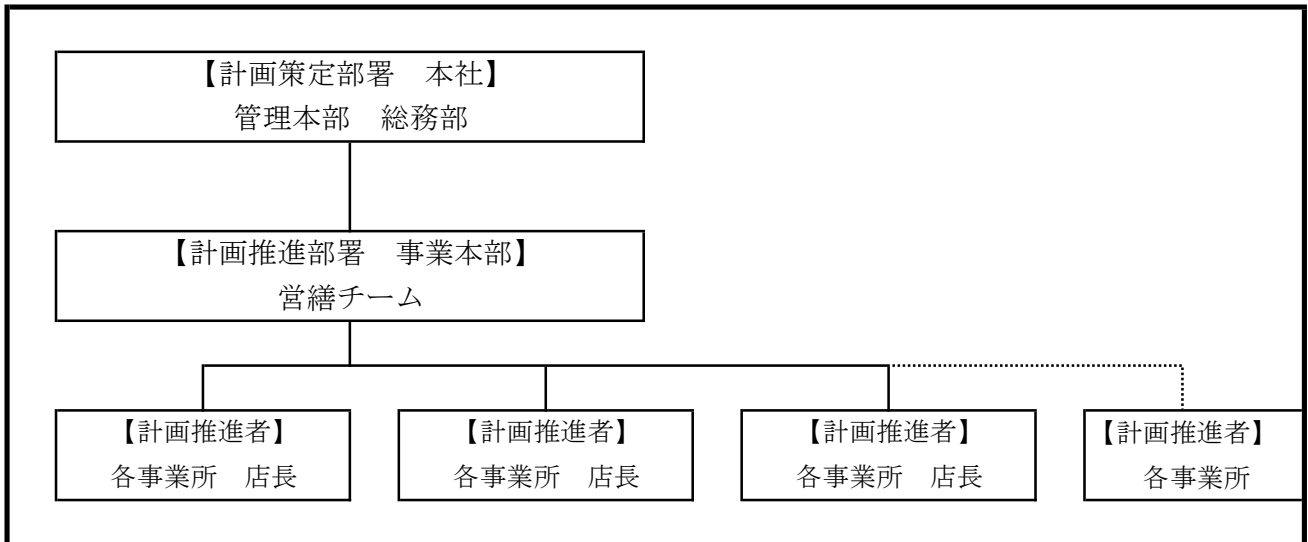
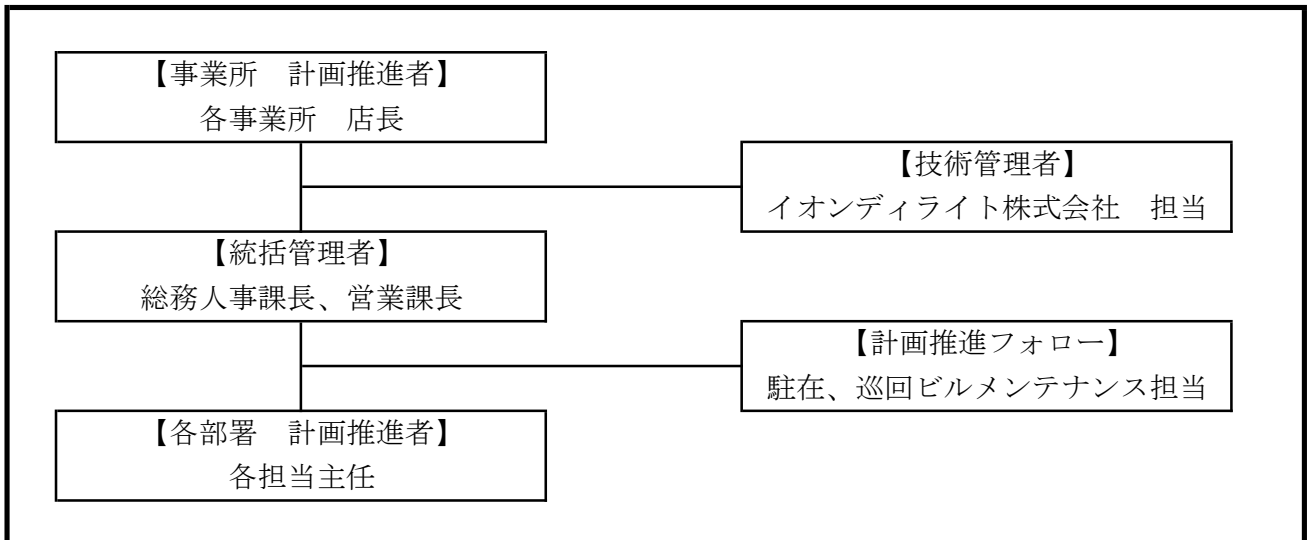


図2 事業所環境管理体制



③重点取組目標・計画

当社では環境マネジメントシステムを活用した継続的な改善を図るため、2009年にISO14001の認証を取得しました。
企業としての社会的責任を果たすため、事業活動において「省エネルギーの推進」「省資源の取り組み」「3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進」「環境に配慮した活動および商品の提供」を通じて、環境負荷の低減と環境保全活動に取り組んでおります。

2022年度につきましては、以下の目標に取り組んでいきます。

①電気料金

- <目標> 前年比2%削減
- <施策> 店舗照明設備のLED化、省エネ機器（冷蔵庫、空調等）の導入
冷ケース高性能ナイトカバーの導入

②食品廃棄率の削減

- <目標> 0.3%未満
- <施策> 店舗別食品廃棄率グラフを活用、
計画の精度アップ入数の見直し、
5Sの徹底（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）鮮度保持

③フードドライブ回収重量のアップ

- <目標> 21年度重量対比100%以上
- <施策> 回収ボックスの刷新、告知強化

⑤在宅勤務の促進

- <目標> 在館率 25%以下
- <施策> 在宅勤務の促進と部署ごとに設定した独自目標

④地球温暖化対策に係る計画

ア. 前年度(2021年度)の電気・燃料等の使用量及び今年度(2022年度)使用予定量

活動の区分	燃料 焼却物等 の種類	前年度 (2021年度) 使用量	今年度 (2022年度) 予定使用量	単 位	単位 発熱量	排出 係数	排出量(t-CO2)	
							前年度 (2021年度) 実績	今年度 (2022年度) 予定
	電気事業者から供給された電気の使用	40,679,022	38,820,204	KWH		0.3580	14,563	13,898
燃料 の使用	都市ガス	627,059	606,493	m ³	45.0	0.0136	1,360	1,316
	LPG	1,037	1,016	kg	50.2	0.0598	11	11
	A重油	0	0	ℓ	39.1	0.0693	0	0
	灯油	0	0	ℓ	36.7	0.0678	0	0
	軽油	0	0	ℓ	38.2	0.0187	0	0
	冷温水	0	0	MJ		0.0570	0	0
合 計		41,307,118	39,427,713				15,935	15,224

イ. 前年度(基準年度)の排出量、今年度の排出削減目標、削減率

温室効果ガス	前年度(基準年度)実績	今年度(2022年度)計画	
	排出量(t-CO2)	削減目標量(t-CO2)	削減率
二酸化炭素	15,935	15,224	4.5%
メタン	0	0	0.0%
一酸化炭素	0	0	0.0%
HFC	0	0	0.0%
PFC	0	0	0.0%
六フッ化硫黄	0	0	0.0%
合 計	15,935	15,224	4.5%

ウ. 目標達成のために講ずる措置・対策

計画施策	実施時期	想定削減効果
省エネ施策の推進(電気使用量の削減)	継続	エネルギー使用量0.5%削減
冷ケース適正温度の設定と運用(冷やしすぎ防止)	継続	エネルギー使用量1%削減
営業時間外の不要照明の消灯(全店)	継続	エネルギー使用量0.5%削減
エネルギーマネジメントシステムの活用による使用状況の確認、改善	継続	エネルギー使用量0.5%削減

